

二日目の様子 Part 1

各分科会では、レポートをもとに活発な協議がされました。

分科会①

「健康・身体づくり1」

レポートは、大阪市からの1本。訪問療法士との合同授業の事例報告です。いつもは二人の授業でも、合同授業の日はお母さんの参観日になります。わいわいと楽しいひと時を過ごします。



分科会②

「健康・身体づくり2」

実技講座がありました。体を動かすには、動点と支点が必ず必要です。それらを理解した上で支点の方に体重を移動させることがポイントです。など、わかりやすく実技指導してくださいました。



分科会③

「コミュニケーション1」

（AACを用いたコミュニケーション）

レポートは、和歌山からの1本です。タブレット端末で高等部の訪問生と通学生がつながる、という事例報告でした。体調等の理由でスクリーニングできない子どもにとっての集団保障は重要課題です。



分科会④

「コミュニケーション2」

（重症児のコミュニケーション）

レポートは、和歌山・奈良・東京からの3本です。「手の活動」を本人に見せることは大切です。また、日々のやり取りの中で、声掛けにより緊張が緩み、関節の可動域が広がることがあります。「気持ちが障がいを超える」ということがあるのでですね。



分科会⑤

「あそび・文化と授業づくり」

（重症児のコミュニケーション）

レポートは、京都・和歌山からの3本です。「さくら版 オズのまほうのもり」を単元とした学習を夏休みの合同スクリーニングで行った事例報告でした。



分科会⑥「地域での生活支援と教育」 －医療・教育・生活

地域で障がい児の支援をしている、コーディネーター・NPO法人からの2本のレポートでした。子どもたちの教育と生活を豊かにする地域支援のネットワークづくりが大切です。

